

教育の駅 いながわ

兵庫県川辺郡猪名川町教育委員会 発行

〒666-0292 猪名川町上野字北畑11-1 電話：072-766-6000 FAX：072-766-8904 Eメール：kyoikushinko@town.inagawa.lg.jp

ふるさとを学び、未来をひらく「猪名川学」

令和7年度より、幼稚園から小学校・中学校すべてで探究学習「猪名川学」に取り組んでいます。

猪名川での毎日の生活そのものを学びの機会ととらえ、まち全体を学びの場とする教育のかたちです。

体験から学びの芽を育てる

幼稚園では、田植え体験や川遊び、春見つけ・秋見つけ、飼育・栽培活動、買い物体験、収穫・調理体験など、自然や地域のひととの関わりを大切にした活動を行っています。

五感を使った豊かな直接体験の中で、「なぜ?」「やってみよう」という気持ちを育み、学ぶ力の土台を築きます。

地域を知り、自分を見つめる

小学校では、校区探検や農作物生産者との交流、飼育・栽培活動、秘伝の味噌づくりやしめ縄づくりなど、地域に根ざした学習を展開しています。

また、多田銀銅山をはじめとする町内の歴史や文化、伝統芸能や日本文化体験にも触れ、ふるさとの魅力を学びます。

地域を知

ることは、

自分の生き

方を考える

ことへとつ

ながりま

す。学びを

通して未来

の自分の姿

を少しずつ

描いていき

ます。

猪名川から未来を創る

中学校では、猪名川の自然・文化・歴史や町の課題をもとに、自らテーマを設定し、探究的な学習を進めます。

仮説を立て、

調査・分析し、

まとめた成果を

地域や仲間に発

信します。

地元との関わ

りを大切にしな

がら、社会や世



自然と水を守り、共存できる社会

題のテーマ：生き物

1. 探究テーマの設定

1組では、現在の猪名川町や日本について話し合ったとき、まず水などの有価資源の状況に目を付けました。資源の中には約50年後に尽きてしまうかも、と書かれているものもあり、その中で身近でどうなのかが気になったのが水でした。また4組の生き物についてはクラステーマが決まったときに、生き物も関連してくると考えたからです。生き物の中でもクマについて着目した理由は最近、ニュースなどでクマの被害について取り上げられていたからです。

2. 探究の内容

まず4組では日本・猪名川町での動物からの被害状況について調べました。図1から分かるように出撃件数が増えていることがわかります。そこで狙いの疑問ができました。それは森に生息する動物がなぜ都市部に来ているのかということでした。餌をたかることによる食べ物不足と生息環境の悪化が考えられます。それは森の木などを人間が伐採していることなどが考えられます。もう一つはクマの数が増えてきていることなども餌不足が考えられます。やはりクマがいると怖いので、現在の日本ではクマを駆除していますが、このまま駆除を続けていくと、クマの数が減ってしまい、クマが絶滅の危機に陥ってしまうかもしれません。クマが人間に食いつくすのは山に餌を奪い合っているからかもしれませんが、クマが食べるものはブナの実(どんぐり)などを食べますが、ブナの実を獲るのには長い年月がかかります。しかし、クマの被害はできるだけ少なくしなければならぬので私達は人工的に餌を作る方法を考えました。河山青つ餅はどこでもできる餅でなければいけなくて、餅をたかるころさつまいもがどこでも買えます。そのさつまいもをクマだけが住む地域を山の中に作って動物園のようにするとうことを考へて考えました。そして私達の班では生き物と共存するために猪名川町・学校・自分たちでできることを考えました。



図1

図2

～生き物と共存するために～

・自分ができること：
ゴミを捨てない・動物に悪影響、動物が誤飲、クマを見つけたら通報、今の状況を理解しながら、意識を高める・食品廃棄物を減らす

・学校ができること：

SNSなどで猪名川町の発信・チラシなどを作る。給食を残さないように徹底する、クラスで生き物を飼う

・猪名川町ができること：

物を作りすぎない、木を伐採しすぎない、水を大切に

3. 探究のまとめ(考察)

生き物と共存するために、自然を守り資源に保つために私達がすることはゴミを分別してから捨てる、学校では給食の食べ残しを減らし、食品廃棄物を減らしていきたいです。他にも水を大切に使う、自然を汚さないようにしたいです。学校ではSNSやポスターを作り猪名川町のことや私達が活動している内容を発信し、地域の方々にも協力してもらいます。猪名川町では実際に物を作らず、購入するとき本町に依頼かどうかを考えると、木の伐採を減らすことなどをしたいです。これらを行うためには一人ひとりの意識が大切なので意識を高めていきたいです。

界とのつながりにも目を向け、自分自身の将来や猪名川の未来について主体的に考えます。

私たちの身の回りの暮らしは、日本、そして世界の経済や社会とつながっています。

猪名川での体験は、やがて全国へ、地球全体へと広がる学びへと発展します。ふるさと猪名川を舞台に、一人ひとりが問いを立て、考え、行動する。

地域とともに歩む探究の積み重ねが、子どもたちの未来を創る力を育てます。

猪名川町就学前教育・保育のあり方に関する基本方針を策定しました。



町就学前教育・保育のあり方検討委員会より示された提言をもとに、現在「猪名川町就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」を策定しました。



その1 今後の町立就学前施設のあり方について

今の町立幼稚園・保育園についてはそれぞれが担ってきた役割や機能の一つにし、在園児だけでなくすべての家庭を対象とした支援活動を担う「幼保連携型認定こども園」1園への再編を進めます。



その2 町立認定こども園の開園時期について

町立認定こども園は、令和10年4月の開園を目指します。



その3 町立認定こども園の設置場所について

町立認定こども園の設置場所は、施設の機能や設備の状況、保護者の送迎の利便性等を総合的に考慮し、猪名川保育園を最優先施設とします。



認定こども園開園準備をすすめていくにあたって

■よりよい教育・保育環境を整えることを大切に考えていきます

認定こども園への再編は、子どもたち一人一人にとってより良い教育・保育環境を整えることを最も大切に考えています。職員体制についても、子どもたちの育ちを支える視点から丁寧に検討を進めてまいります。

■子どもが安心して通える準備を進めます

教育保育環境の変化に対するご心配の声を大切に受け止め、開園前に施設や場所に親しむことができる機会づくりについて検討を進めていきます。そして、子どもたちが安心して新しい生活を始められるよう、心の安定を第一に丁寧に準備していきます。

■認定こども園開園に向けての準備の様子を丁寧にお伝えします

現在は、基本方針をもとに具体的な内容を検討している段階です。今後、決定したことなど進捗状況については、随時「就学前教育・保育のみらい通信」やホームページでお知らせします。



認定こども園開園に向けての各種情報については、ホームページでお知らせしていきます。
詳細につきましては、左記二次元コードより、ご覧ください。

町立学校のあり方検討

令和8年2月13日(金)、第2回猪名川町立学校園あり方検討委員会を実施しました。

1回目で出た質問として「小中一貫教育」や「義務教育学校」についての質問が多かったため、西川委員長からの話も含めて、理解を深めました。

他に、現在の学校施設の現状について町の財政状況等も含めて説明したのち、5つのグループに分かれて「猪名川町においてどんな学校であること、どんな教育が行われることが良いのか。」についてグループディスカッションを行いました。

各グループからは、小中一貫教育については、期待できる面として、9年間の縦のつながりによる教育課程の柔軟性や、適正な集団規模の確保が、猪名川町への定住促進や魅力ある学校づくりに繋がるとの声がありました。一方で、教員の負担増、人間関係の固定化による「選択肢」の喪失、小規模校ならではの良さの欠如を危惧する意見もありました。今まで行ってきた学校間・地域との交流事業を活かした安心感は維持しつつ、他自治体の模倣ではない、

小中一貫教育について

小中一貫教育			
学校	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校	
修業年限	9年間(前期課程6年+後期課程3年)	小学校6年間、中学校3年間	
組織	一人の校長、一つの教職員組織	それぞれの学校に校長・教職員組織がある。	
施設形態	施設一体型	施設隣接型	施設分離型
			
教育課程	義務教育9年間を見通した連続性のある独自の教育課程が編成可能		
小中一貫教育の特色・取組	系統性・連続性に配慮したカリキュラム 教員が互いの専門性を学び合う 「中1ギャップ」などの課題緩和 異学年集団での共同学習や体験学習、学校行事 社会性やリーダーシップ、共感性を育む		

猪名川らしいかたちを見つけていきたいと思っています。

これからも、学校あり方検討委員会の情報は随時公開していきます。

詳しい資料等はHPもご覧ください。



教育委員コラム

ニュースに関心を



教育委員 上神 善太郎
うえがみ ぜんたろう

今日の、先行きが不透明で予測不能な時代にあり、今の子どもたちに特に身につけてほしいのは、「考える力」だと私は思っています。

情報があふれている今日、正しい情報を見抜き取捨選択する力や、国際化時代にあつて、国内外のいろいろな出来事に関心を持ち、なぜ起こったのか、その背景は何かを考え、自分なりの意見を持つことが大切だと考えます。

今年1月の新聞にこんな記事が載っていました。全国屈指の進学校である私立中学校の入試で、イスラエル軍とイスラム組織ハマスによる戦闘によって多くの市民が犠牲となったパレスチナ自治区を巡る詩が、国語の読解問題として出題されました。同校のコメントが併せて載せてあり、「本校の試験科目には社会がない。かといって社会を勉強しなくても良いわけではなく、社会的な問題についても日々ニュースや新

聞に目を向け、興味関心を持つてほしいという思いで出題した。」と。考える力は早々には身につくまい。教育現場では「探究学習」の授業を通して、物事を掘り下げて考えること、課題に対して友達とコミュニケーションを図りながら解決へと導く、課題解決型の学習に取り組み、考える力を養っています。

ニュースに関心を持つことは、国際化社会で生きていく大切な知識を得ることであり、その出来事について深く考えることは、複眼的なものの方を養うことにも繋がります。家庭でも、国内外のニュースについて、子どもたちと話し合つてはどうでしょうか。





【大島小】自分たちで作ったお豆腐に舌鼓♪

12月11日(木) 給食センターの方に来ていただいて、3年生がお豆腐づくりにチャレンジしました。豆乳がだんだん固まっていくのにびっくり！自分たちで作ったお豆腐は格別においしかったようです♪



【松尾台小】われら平和守り隊！

12月12日(金) 6年生が平和集会で、修学旅行の報告や思いを込めた劇、歌を発表してくれました。6年生が、下級生へ「つないだ思い」。松尾台小学校の伝統として、未来へとつなげていきたいと思ひます。



【猪名川小】認知症キッズサポーター養成講座の実施について

12月5日(金) 6年生が認知症キッズサポーター養成講座に参加しました。社会福祉協議会から講師をお招きして、認知症とはどのようなものなのか、認知症の人とどう接したらよいのかについて学びました。



【白金小】オープン参観・1.17集会

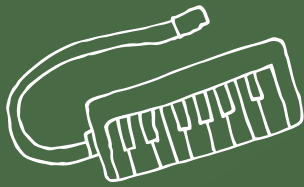
地域の総合防災訓練に合わせてオープン参観を行いました。阪神淡路大震災から31年目となる1.17集会では、児童会運営委員がスライドを作成したり、校長先生が読み聞かせをしたりして、当時の記憶や教訓を全校生に伝えました。



【楊津小】とんど・もちつき大会～地域とともに～

1月10日(土) とんど大会を行いました。スポーツ21の皆さんを中心に地域の方にご指導いただきながら児童も竹組みに参加しました。もちつき大会ではやないづ秘伝の味噌と児童が育てたごぼう、さつまいもを使った味噌汁、バケツ稲のもち米を使ったつきたてのおもちを味わいました。





ABC



【猪名川幼】『ぐるんぱ』さんの絵本の読み聞かせ
毎週金曜日 10時から1時間、幼稚園の絵本ルームに読み聞かせグループ『ぐるんぱ』さんが来てくれます。未就園児親子さんや園児は、遊びを取り入れた絵本の読み聞かせが大好きです！ありがとうございます。



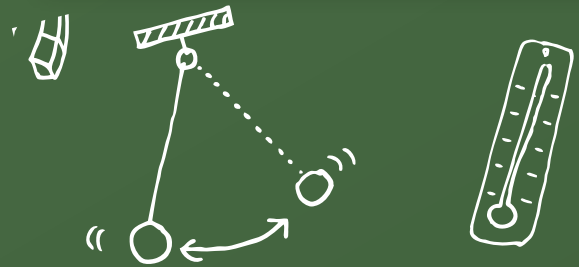
【六瀬幼】幼稚園で雪遊び

雪が降った日、園庭の雪をみんなで集めてかまくらやそりすべりのゲレンデを作りました。雪を集める人・運ぶ人・固める人など友達と協力しながら冬の遊びを堪能しました。



【つつじが丘小】盛り上がった つつ小祭！

1月30日(金)は、つつ小祭。まとあてや段ボール積み、テープの長さ当て、ブラックボックスなど、1～6年生の各クラスが、楽しいお店を考えました。保護者の方々も参加し、どのお店も大盛り上がりでした。



【猪名川中】生活安全委員による、駐輪場リニューアル！

校内の駐輪場では、自転車が収まらないことが課題でした。そこで生活安全委員会が位置を見える化するラインをペンキで整備しました。今では整然と並び、全員が気持ちよく利用できています。



【清陵中】NKP主催モルック大会

NKP(中庭活用プロジェクトチーム)が主催で開催されたモルック大会。NKPの生徒が企画から運営まで行い多いに盛り上がりしました。誰もが参加できるスポーツ。誰もが参加できる中庭イベントをこれからも生徒たちが考えていきます！！

速報

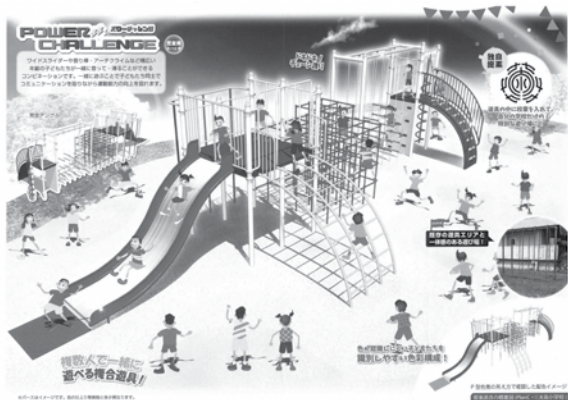
子どもたちの「挑戦したい！」を育む 町内4小学校に新しい遊具が設置されます

猪名川町では、子どもたちが楽しみながら体を動かし、挑戦する気持ちや考える力を育む環境づくりを進めています。今回の遊具整備は、町にいたいた寄附を活用するもので、学校ごとに実施した遊具点検の結果、安全上の理由から新たに設置が必要となった4小学校を対象に実施するものです。

整備にあたっては、子どもたちの声を取り入れるため、各小学校で複数の遊具案を示した児童アンケートを実施しました。その結果をもとに、各校で設置する遊具を選定しています。

大島小学校には、登る・渡る・くぐるなど多様な動きを組み合わせた遊具「パワーチャレンジ」を設置します。複数の遊び方ができ、子どもたちが自分でルートを考えながら挑戦できる点が特長です。

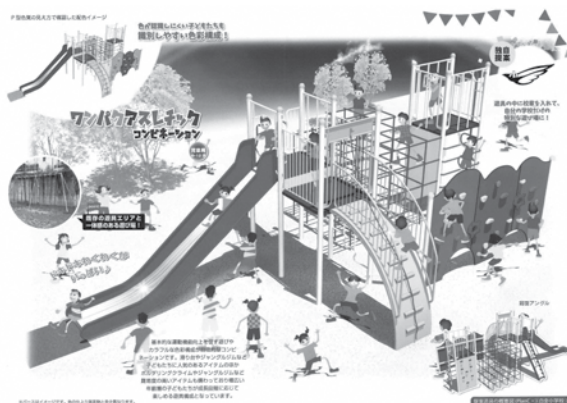
松尾台小学校では、すべり台やフライミング、ネット遊具などを組み合わせた「わんぱくドリームコンビネーション」を設置します。高低差や動きの変化を楽しみながら、友だちと一緒にのびのびと遊べる大型の複合遊具です。



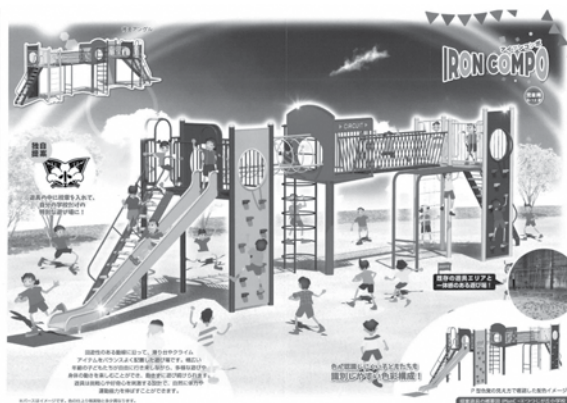
大島小学校完成イメージ



松尾台小学校完成イメージ



白金小学校完成イメージ



つつじが丘小学校完成イメージ

白金小学校には「わんぱくアスレチックコンビネーション」を設置し、現在工事を進めています。登る・渡るといった運動要素に加え、色や形にも工夫を凝らした遊具です。

つつじが丘小学校には、すべり台やフライミング、ネット遊具、ウォールクライムなどを組み合わせた複合遊具「アイアンコンビポ」を整備します。登る・渡る・くぐるといった多様な動きを楽しめる構成です。

なお、すべての遊具には昆虫のイラストを配置し、遊びながら「昆虫さがし」を楽しめる工夫を取り入れています。子どもたちが遊びの中で考え、挑戦する気持ちや観察力を育めるよう配慮しています。

いずれの遊具も最新の安全基準を満たしたものを採用し、専門業者による点検を行うなど安全面に十分配慮しています。また、遊びの中で自然に体力やバランス感覚、友だちと協力する力が育まれるよう設計されています。

猪名川町では、今後も学校ごとの実情や子どもたちの声を大切にしながら、学びと遊びの環境充実に取り組んでいきます。新しくなった校庭で、子どもたちが元気いっぱい遊ぶ姿が見られることを期待しています。

芸術文化大会等へ出場される方に助成します

近畿大会以上の芸術文化活動の大会に出場又は出展等される方に助成金を交付しています。

(対象となる大会)

- ・文部科学省又は文化庁が主催、共催又は後援する大会
- ・国又は地方公共団体その他これらに準ずる機関若しくは新聞社等が主催、共催又は後援する大会

(対象者)

- ・各種予選や選考会等を経て大会の出場資格を得たもの
- ・主催する団体から推薦を受けたもの

(助成金)

大会の種類	助成金（1人につき）
国際大会	10,000 円（団体は 50,000 円を上限とする）
全国大会	7,000 円（団体は 30,000 円を上限とする）
近畿大会	5,000 円（団体は 20,000 円を上限とする）

詳しくは、文化体育館（☎ 072-766-7400）まで。

第 25 回 猪名川町展の開催について

- **応募資格** 高校生以上（町外在住の方の応募も可）
- **応募作品** 絵画、立体工芸（彫刻・工芸）、書、写真 ※ 自作未発表の作品に限る
- **応募点数** 1 部門につき 1 点（複数部門の応募可）
- **お問合せ** 猪名川町展実行委員会事務局（☎ 072-766-7400）まで。

詳細が決まり次第、町広報等でお知らせします。

令和 8 年度 町立小・中学校、幼稚園 入学式・入園式・始業式・進級式 日程

	入学式	始業式
小学校	4月 10日（金） 午前10：00～	4月 8日（水）
中学校	4月 10日（金） 午後2：00～	4月 8日（水）
	入園式	進級式
幼稚園	4月 14日（火） 午前10：00～	4月13日（月）

図書館だより



【幼稚園から】

『どきどきする』



たけがみたえ／作
偕成社

声を出して、どきどき。もうすぐ蝶になるさなぎが、どきどき。ぞうはおおきなうんこがでて、どきどき。緊張したり、不安になったり、悲しい気持ちのどきどきがあれば、うれしかったり、興奮したり、好きな気持ちのどきどきもありますね。どんな時にどきどきするのか、一緒に考えながら読むとより楽しめる絵本です。版画で表現されており、迫力のある絵の中に生き物たちの力強さを感じます。

【小学校低学年から】

『早口ことばがじゃまをする』



桂三実／作
あおきひろえ／絵
理論社

学校で早口ことばを考える宿題が出たコウタ。もうすぐ赤ちゃんが生まれる予定のため、三連休はお父さんと家でお留守番です。お昼

をファミレスで食べるようになったコウタは、その道中で早口ことばを考えることにします。するとなぜか早口言葉の内容が実際に起こるようになって…。読むだけじゃなく、声に出して読むのもっと楽しい本。ぜひ、本文中の早口言葉をつつかえずに読み切ってください。

【小学校中学年から】

『はじまりはわざとじゃない』



かさいまり／著
北村みなみ／絵
くもん出版

ぶつかられたるい。わざとぶつかってきたとるいは感じていますが、つばさは「わざとじゃない」と言い張り、言い合いになってしまいます。先生に注意されあやまつてきたものの、その態度にますますイライラ。いつもクラスのみんなにちよっかいをだすつばさの行動が理解できないいでしたが、妹と近くのスーパーで偶然つばさと出会いは、思いもよらない一面を目撃して…。同じ場面でも、それぞれの立場になってみると、見えてくるものがありますよ。

【小学校高学年から】

『わたしは書体デザイナー』

みんなの「読める」をデザインしたい

高田裕美／著 Gakken

「書体」とは、ある考え方のものと同じ



雰囲気をもたせてデザインされた文字の集まりのこと。その書体をデザインする仕事をしている高田さん。高田さんが8年かけて作った「UDデジタル教科書体」は、その読みやすさから教科書だけでなく、様々な場所に使われています。誰も取り残さないデザインをつくるため、読みやすさを追求めた高田さんがこの書体を作ろうと決心したのは、様々な出会いで気づいた強い思いがあったからでした。

【中学生向け】

『業平センパイの読書会堤中納言物語』



花形みつる／著 偕成社

古典研究部の部長の業平先輩は、新入部員をいれるため読書会を開催することに。読書会に参加したのは、入学後部活動に入るタイミングを逃してしまった村崎さんと、古文は意味不明と思いつつ新しいことに挑戦したい清宮さんの2人。お題の『堤中納言物語』は、平安時代後期から書かれた「虫めづる姫君」などで有名な短編物語集。読み進めてみると、平安時代の貴族生活はつつこみどころが満載、それなのに顧問の提案で物語の続きを考えることになり…。残された文章をもとに當時を想像する、古典の世界の楽しみ方が詰まった物語です。

すべて図書館にあります。お問合せは図書館（☎072-766-3238）まで。

※ここで紹介した本以外にもテーマ(カテゴリ)ごとのオススメ本などを、図書館ホームページ「テーマ別展示のコーナー」、ウェブ本棚「ブックログ」でも紹介しています。興味のある本探しにぜひご活用ください。

学校給食のレシピ

ひじきサラダ

【作り方】

- ① ひじきは水でもどす。
- ② キャベツは8mm幅、にんじんは短冊3mmに切る。
- ③ ①、②を茹で、冷ます。
- ④ からし粉は酢で溶く。
- ⑤ ④とAを混ぜ合わせる。
- ⑥ まぐろ水煮と③に、⑤をかけてできあがり。



からし粉は先に酢でのばすことで固まりがでません。また、からし粉は練りがらしでもできます。からしはにおいを消したり、食欲を増したり、細菌の増殖を抑えたりする効果があります。お弁当のおかずにもおすすめです。

【材料 (4人分)】

- ・ひじき (乾燥) 大さじ1
- ・まぐろ水煮 30g
- ・キャベツ 120g
- ・にんじん 1/8本
- ・酢 小さじ2
- ・からし粉 少々
- A {
 - ・ごま 小さじ1
 - ・砂糖 大さじ1
 - ・こいくち醤油 小さじ2
 - ・ごま油 少々

この広報誌は12,300部作成し一部あたりの単価は17.49円です。



再生紙を使用し環境にやさしい
植物油インキで印刷しています。

令和8年4月1日

猪名川町教育委員会報

教育の駅 いながわ

第113号 (8)